



# PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

## 精子の旅

人間の精子は女性の生殖器の中を通り抜けて輸卵管に向かって進んでいきます。この管を抜けると精子は管の先にあるタコの足のようなふさ状のもの、のそばにある卵巣の方へと行きます。卵巣の中には何百もの未完成な卵子がたまっています。毎月、この中から成熟した卵子のうち一つか二つが卵巣の皮膚の下を通って外に出ようとします。その後、いわゆる「排卵」で一つの卵子が袋果と呼ばれる殻を破って卵巣を出て、腹部腔を自由に動き回るので

す。卵子の大きさはどのくらいでしょうか。それは普通の針の頭の部分くらいのもので、精子がこの卵子の周りに群がるのもこの時期です。精子の大きさは

どのくらいのものでしょうか。小さなアリがバスケットボールをよじ登っているところを想像して下さい。精子と卵子の大きさの違いは大体そんな感じですよ。これらの大量の精子のうち一つは卵子の壁を突き破って中に入り込み、すると今度は卵子がそれを吸い込むように自分の核の部分に引き寄せます。それと同時に電気あるいは科学的な作用が卵子の周りにおき、他の精子が入り込もうとするのを防ぎます。1時間もすると卵子の23個の染色体が1列に並び、23個ある精子の染色体と結合します。こうして妊娠あるいは受精が完成され、新しい人間が形成されるのです。

それから精子の旅は再び繰り返されます。新しく生まれたこの細胞が、男性であれ女性であれ、深くかかわってきます。数時間すると管の両端にある同

じふさ状の物が今度は細胞を管の中に引き戻します。するとまず最初の細胞分裂が起こります。そして約1週間かけてこの新しい細胞を管の中へ引き戻し、子宮腔へ再び送り込みます。この小さな人間である細胞が子宮内に再び入ると、今度は子宮内の栄養壁のある一点を探してそこに潜伏します。潜伏すると急いで母親の血液と身体にホルモンを使ってメッセージを送ります。「月経を起こさないでね。私はここにいるから。」というものです。

数年前までは知られていませんでしたが、今では母親の月経を止めたのはこの小さい人間だった事がわかってきました。母親の体は支持した通りに反応してくれました。だから母親の胎内で安住し、成長を始める事が出来たのです。こうした妊娠に関する事実を知る事は、様々な避妊

薬や墮胎薬が妊娠の過程においてどれだけ大きな影響を及ぼす物であるかを理解する上で非常に重要な事なのです。

ジョン・C・ウィルキー  
医学博士

# クリスティーナ・マリー

神があなたをお創りになったのには意味があるのです。

91年6月9日 日曜日

クリスティーナ・

マリーへ

君は今、この世を去ろうとしてるんだね。いやもしかしたらもう亡くなっってしまったかも知れませんが、ぼくにはどちらとも分からないけれど、君がまだ生きている事を祈りながら、この手紙を書いていきます。

君はまだぼくの親指よりも小さい位で、母さんのお腹の中にいます。僕たちがどんなに君を愛し、君の存在がどんなに僕たちに日々の幸福を与えてくれたかを知ってもらえたら、と思います。本当に、父さんは君をこの腕に抱き、色々世話を出来たらと祈らずにはいられません。母さんは出血し続けて

います。その血は君の命の木から流れ出る血なので、ああ、その血が止まってくれたら！けれどもなかなか止まってくれそうもないので。母さんと父さんは、君が死んでしまったらどんなに悲しい事でしょう。君が母さんのお腹にいと知った日から僕たちにどんなに喜びや幸せを与えてくれたか分かりません。

君が今まで生きてきた日々の事を少し話しましょう。君が母さんのお腹の中にいると知らされた時父さんと母さんはとても驚いたのです。正直に言って、その時僕は子供をつくる計画もなかったし、予想もいや、それどころか君がこんなふうになるかの生活に入り込んでくるとなんて希望すらしてい

なかつたからです。こんな事を言って君を傷つけるつもりはないんだ。ごめんよ。僕たちではなく神様が、君のために計画し、予想し、希望していた事だつたんだと今はそう思っています。

知り合いの人達の中には母さんの事をとても気にかけてくれる人々がいて、君を墮胎してしまうよう僕らに勧めました。彼らがそう言うのも、君の兄さんのスタンリー（3才になるのだが）が非常な難産の末、帝王切開で生まれてきたからです。兄さんの頭は大きすぎたんだね。君の2番目の兄さんのハリーも又1年半前帝王切開で生まれて、手術でなかったら命が危なかったのです。彼の健康状態は悪く、肺で自己呼吸が出来ないほどで

した。お医者さんたちは、母さんの体が3番目の子供を生むのに十分回復していないと言いました。母さんの命が危険だとも。だからこそ、みんな君を墮胎するべきだと言ったのでした。みんな母さんの事が大好きだったので。クリスティーナ・マリー、父さんだつて母さんの事を愛している。この地球上の他の誰よりも母さんの事が大事な位です。でも心配しないで。君を殺したりはしない。どうか君を殺すように忠告した人々を怒らな

いで欲しいのです。彼らを許し、彼らのために祈ってあげて下さい。彼らはよく気がついて親切で愛すべき人々なのです。彼らの愛情が少しばかり間違つた方向を向いてしまった、それだけです。

なりませんでした。僕らは既に母さんと兄さん達がアメリカにいく計画を立てていて（家族の市民権の問題で）、ぼくだけが台湾に残って教師としての仕事を続けていくつもりでした。でも君の出現で状況が一変しました。僕たちが一念に準備した計画も全て水の泡となってしまいました。でも父さんと母さんには分かっていました。神様のお立てになつた賢い計画の方が僕らの考えつくいかなる計画よりもずっと素晴らしいのだと。君がそれを証明してくれました。たとえ実行しなくても家族を放り出して仕事を優先するなんて考えた事がどんなに愚かしい間違いであったかを君が教えてくれました。

僕らが計画の変更を決めたと同時にぼくは学校をやめたいと申し出ねばならなかったのですが、かといってアメリカでの就

職先もどうなるか分からないといった状況でした。学校をやめて収入は半分減った上、母さんを助けたり、引越しの準備をしたりで個人的に教えていた授業の口も減らさなければなりませんでした。実際に必要な金はよくに作れようもなく、君の事を考えると、もっとたくさんのお金が必要になりそうです。君がこの世に命を受け

ぼくは僕ら家族の生活の安定は、貯金でも保険でもなく、神様次第だと思いません。貯金も保険も無論、ないがしろには出来ませんが、僕たちはいつでも何を優先するか筋道を正しく持たねばなりません。

人に愛され、人を愛する事が出来る事で保証されるのです。愛されるという事は僕たちみんなが、母親の胎内に生命を授けられた時に神様から送られたものです。

のならば、墮胎した方がよいと言つた人達がいました。その人達は、もし君が愛されたり、必要とされたりしないのなら、生まれてこない方がましだと思つたのです。もし父さんが君の事を愛してなかったり、本当に必要だとしてないのだとしたら、ぼくが祈るたつた一つの願ひは君への愛情を持つ心を下さいという事です。君を殺してしまう事は君がもたらすかもしれないいろいろな贈り物の全てをこの世から奪い去る事になるのです。クリスティーナ・マリー、もし君に腕がなかったり、脚がなかったり、もしくは精神的に不完全だったとしても、安心おし。君はぼくの子どもだ。そしてぼくは君を愛している。

せてあげよう。そして君だけのためにもっとたくさんのお話しを書いてあげよう。もし、人が君を見て笑ったり、君を妙な目で見たりしたら、二人で一緒にその可愛そうな人のためにお祈りしてあげようね。だって傷ついているのはその人なんだ。大切な物が欠けているのはその人なんだ。父さんや君ではないのです。

るまでは僕たちはやっとの事で貯金を始める余裕が出来たと思ひ始めていたのです。でも君の事を考えると、僕らはまだまだ、次の給料日を待つというその日暮らしの生活を続けなければならぬようです。君にかかる費用のため、お金を借りなければならぬ、お金の借りがありません。又、君のためにぼくはもっと一生懸命に働かなくてはならないだろうから収入の口をもっといくつも探さなくてはなりません。

君の命と健康が何よりも優先されねばなりません。だからこそ、金曜日には僕らにとって辛い日となりました。母さんはお医者に行きました。お医者さんは君の様子がおかしいと言いました。健康児じゃないかも知れない。すると又、墮胎しなさいと知り合

いの人達が言いました。彼らのために祈り許してあげて下さい。みんな、もし君の身体や精神が健康なものであれば君の生きる価値はないと思つたのです。彼らはただ少しの間忘れてしまったのです。完全な生涯は完全な健康だけによるものではない事を。完全な生涯は本当は

秘的で厳肅な一瞬がありました。誰一人として、生まれてきたのはたまたま生まれてくるチャンスを与えられたというふうな物でももつたかのような事柄では決してないのです。子どもは人から愛される事によって、人を愛する事が出来るようになります。父さんが君を愛していません。望んでいない

母さんはまだたくさん出血しています。もしかしたら君はまもなくこの世を去ろうとしているのかも知れない。もし君が死ななければならぬのだとしたら、神様にお任せしよう。僕たちが「その時」を選ぶなら、もしかすると君の命が助かる奇跡を不意にするかも知れないし、君の愛を少しでも長く感じていられるチャンスがなくなるかもしれないからね。

うにあなたに神のお恵み  
がありますように。

クリスティーナ・マリー  
の父

エリック・マージン

リー、君がこれまで生きてきたのは、短い間ながら、すでに大きな意義をもたらしている事を知って下さい。君が父さんと母さんに与えてくれた愛に感謝して止みません。

もし君がこの世を去らなければならぬのなら、君の墮胎について非常に感情的に賛否両論をかわしたどちらの側の人々をも許し、祈って下さい。まさに我らの主イエスが十字架で祈って下さったように。「全能の神よ、彼らを許し給え。彼らは自分達が何をしているのか知らないのです。」

君の事を愛している、わが娘よ。僕たちのもとを去らねばならないのなら、ぼくは天にまします御父の愛情あふれた御手に君が速やかに、安らかにたどり着けるようにお祈りしよう。クリスティーナ・マリー、わが子よ、君が僕らに恵みを与えてくれたよ

## 墮胎児からの臓器移植

成人病の治療に、墮胎児から摘出した臓器を使用することの是非をめぐる問題は、ますます注目をあびている。最近、メキシコの医師が、13カ月で流産した胎児の脳と副腎をパーキンソン氏病の成人二人の脳に移植した。患者は順調に回復しているとの事だ。

米国コロラド大学の博士団は、胎児の脾臓にある、インシュリンをつくりだしている細胞を糖尿病患者に移植する手術を実施している。墮胎児の肝臓細胞(母体内にいる時から血液をつくりだしている器官である)を血液に障害をもつ他の胎児に移植すべきだと唱える医師もいるほどだ。

成人病の治療に、墮胎児から摘出した臓器を使用することの是非をめぐる問題は、ますます注目をあびている。最近、メキシコの医師が、13カ月で流産した胎児の脳と副腎をパーキンソン氏病の成人二人の脳に移植した。患者は順調に回復しているとの事だ。

にも適応出来る可能性がある。あるために移植に使用するのに最適だと主張している。一方、日本をはじめとする全世界の生命尊重派は次のいくつかの理由から移植に反対している。

第一に、子供を産むか中絶するか悩んでいる女性が自分が中絶すれば、墮胎児の臓器が誰かを救うのに役立つ等と言つ、利他的考えを正当化しだすかもしれない。誰かの命を救うためにも墮胎すべきだ、と信じる女性が増える恐れがある。

第二に、寄贈者(すなわち墮胎児)の臓器を使用するに際して、本人の承諾をとる事ができない。胎児の母親はその子を生かすか殺すかの判断には関わっていないものの、その臓器を提供する倫理的権限は

第三に、墮胎児の臓器移植はナチスによるユダヤ人大虐殺に酷似している。ナチスは人々を殺す前後にわたって、犠牲者の体をいためつけていた。

第四に、計画的に中絶して、胎児の臓器を知人の病気を治療に使用しようとする女性があらわれる危険がある。

第五として、貧困な女性が墮胎児の臓器を売ろうとするかもしれない。

ジョン・ウィルケ博士によると、中絶手術後、なお生存していた胎児はすぐに冷凍され、臓器保存のため体温を低温に保たれる。死亡した(又は、死亡前の)胎児は急いで手術され、臓器を除去された後、成人患者に提供されるといふ。

又、ウィルケ氏の報告に

よると、子宮切開術と呼ばれる帝王切開に似た方法を使って、移植用の臓器を胎児からとりだす事がスウェーデンの研究者によつて試みられていると述べられている。

全世界の生命尊重はパーキンソン氏病やアルツハイマー病等の障害を伴う病気に苦しむ人々に同情し、治療法の開発を切に望んでいるけれど、一人の人間を殺して得た臓器で、他の人間を助ける等と言う事を決して許してはならないと考えている。長所(すなわち臓器移植)にだけ注目して、中絶という悪事を正当化しようとする社会は間違っている。その移植とは、罪のない胎児を殺す事で成り立っているのだ。結果が良ければすべてよし、と言う訳にはいかない。

## 変わった

### 私の考え

私は今まで中絶に反対する事はきれいごとだと思つていた。経済的困難や決して良いとは言えない家庭環境、体の危険性、暴漢などに直面した人達にとつて生まれてくる子供に負担が大きすぎる事を考え、あえて生まないようにする事は、悲惨だけれども、必要な事であるという現実問題があつたからだ。

しかし、私は今考えを変えた。今までの私の考えは結局子どもを守るためではなく、自分を守るための物だつた。中絶は明らかに殺人である。

問題は中絶そのものではない。その原因となる性行為である。私達は人間を創るといふ行為の偉大さと清らかさ(聖なること)を忘れかけているのでは

ないだろうか。妊娠する事を安易に考えているといふ事は人間、つまり自分を軽んじている事である。

性行為は動物もする。動物でさえ子どもをつくるためにする。人間は動物にない宝物をそこでいい加減に使い、中絶という動物以下の道をたどる。人間が人間であるために、中絶はしてはいけない。

学生

## RU-486と胎児

ある英国の医学雑誌に、ピルを飲んだにもかかわらず、妊娠した女性二人の子どもたちが起こつた中絶剤RU-486の影響が書かれています。一つのケースでは、この女性は明らかに普通の赤ちゃんを生みました。しかし、もう一方のケースでは、母親は最後の月経から5週間過ぎた時にRU-486を飲み、それから更に12週経つて、超音波が当てられた時、彼女の子どもの深刻な内部奇形が発覚しました。それで、彼女は中絶してしまいました。その胎児の体を調べてみると、次の所に奇形がみられる重度の障害者でした。

- ・ 内部生殖器の欠損
- ・ 下部泌尿管、腎臓の欠損
- ・ 立身体の結腸不通
- ・ 胃、胆嚢の欠損
- ・ 肺の成長不完全

- ・ 両足の融合
- ・ 外部生殖器、肛門、尿道口の欠損